

ゼロカーボンシティ会津若松推進基金について

1 趣旨

令和8年4月からの家庭ごみ処理有料化に伴う「ごみ処理手数料」について、活用の目的や使途、収支等を明らかにするために、基金を設置するものです。

2 経過

(1) ゼロカーボンシティ会津若松宣言

- ① 年 月 日 令和3年12月27日公表
- ② 概 要 2050年までのできるだけ早い時期に、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることに、全市一丸となって取り組む決意を表明
- ③ 方 向 性
 - ア) 省エネの推進
 - イ) 電化の推進
 - ウ) 再生可能エネルギーの地産地消の推進
 - エ) 3R+Renewable の推進

(2) 家庭ごみ処理有料化実施方針

- ① 年 月 日 令和7年2月策定
- ② 目 的
 - 本市の目指す将来像の実現
 - ア) 資源循環型社会の形成に向けた持続可能なごみ処理体制の構築
 - イ) ゼロカーボンシティの実現と次世代への住みよい環境の継承
 - ウ) ごみ処理手数料を活用したまちづくり
- ③ 使 途

施策	施策の例
【1】資源循環型社会の形成	ア) 3R+Renewable の推進 ・家庭への生ごみ処理機、キューロ設置への補助の充実 ・資源物集団回収奨励のための経費の充実 イ) 住民意識の啓発 ・ごみの分別と減量のためのパンフレット等の充実 ・ポイ捨て防止看板等の作成支援
【2】衛生的な生活環境の保全	ア) 不法投棄や不適正排出への対策 ・不法投棄やごみステーションへの不適正排出防止のための掲示 ・指定ごみ袋等を使用しないごみステーションへの排出対策充実 イ) ごみ・資源物ステーションの機能充実 ・ごみステーション設置支援の補助金の充実 ウ) 高齢者・障がいのある方などへのごみ出し支援 ・ごみ出し支援サービス
【3】地球温暖化対策	ア) 省エネルギー・電化・再生可能エネルギーの地産地消の推進 ・電力可視化システム設置、住宅用太陽光発電設備設置、電気自動車等の購入の支援
【4】その他	ア) 制度運営経費 ※ 上記【1】に該当 ・指定ごみ袋・ごみ処理券調達管理収納等業務委託 等 イ) ごみ処理施設の整備・償還 ※ 上記【2】に該当 ・将来の施設整備等への活用 ・将来の資源化品目拡大への活用

④ 収入見込

(単位：千円)

項目	R8	R9	R10	R11	計
ごみ処理手数料	423,550	354,700	354,700	354,700	1,487,650
指定ごみ袋・ごみ処理券 調達管理収納等業務委託料	245,600	205,687	205,687	205,687	862,661
差引	177,950	149,013	149,013	149,013	624,989

3 基金概要

- (1) 名 称 ゼロカーボンシティ会津若松推進基金
- (2) 種 別 積立基金
- (3) 設置時期 令和8年度
- (4) 設置目的 ゼロカーボンシティ会津若松の推進
- (5) 使 途 ① 資源循環型社会の形成
 ② 衛生的な生活環境の保全
 ③ 地球温暖化対策
- (6) 積 立 て ごみ処理手数料
- (7) そ の 他 管理、運用収益の処理、繰替運用、委任については、本市の他の積立基金と同様とする。

4 情報公開及び検証

- ・ 基金の使途、収支等については、家庭ごみ処理有料化制度による排出抑制や再生利用の推進の効果などとともに、ホームページ等において情報公開します。
- ・ 「ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワーク」の総会、委員会等において、基金の使途、収支等の結果を共有し、幹事団体、パートナー団体、サポート団体、パートナー市民からの意見を以降の基金活用へと反映します。
- ・ 市民理解が重要となることから、毎年度、町内会総会等へ使途や収支の状況等の資料を提供します。

5 市民意見等

- ・ 令和6年度に実施したパブリックコメントでは、ごみ処理手数料の使途として、高齢者や障がいのある方のごみ出し支援、ごみステーション数の増加、ごみ出しができない人を地域ぐるみで支援している町内会への助成、住民税の減税、ごみ減量事業補助金の増額などの意見がありました。
- ・ 令和7年度に実施している地区区長会との意見交換や町内会単位の出前講座では、ごみステーションの設置者であり、不適正排出への対応を行うこととなる町内会に対する支援の拡充や、ごみ処理手数料の使途の公表について意見がありました。

6 今後の予定（案）

- R7.12.18 パブリックコメント開始（R8.1.16 まで）
- R8.1.下旬 環境審議会への諮問・答申
- R8.2.中旬 条例提案
- R8.4.1 基金設置